

## 「南紀生物」目次検索データの公開について

### ○はじめに

令和2年(2020)11月1日に南紀生物同好会のホームページで会誌「南紀生物」の目次検索データを公開しました。これまで、「南紀生物」に掲載された総説・論文等を調べるには、会誌を見て調べるか、会誌に掲載された総目次を見る方法しかありませんでした。昭和24年(1949)の創刊号より第62巻第1号(通巻126号)に掲載された総説・論文・短報は2400本を超えています。自分の興味がある生物の論文があるか、自分の調べたい論文がどの会誌に掲載されているかを調べるのは大変でした。

### ○データ化のきっかけ

平成30年(2018)に私が広報担当になったのを機会にホームページのリニューアルに取りかかりました。その際に、それまで一部のみ掲載していた会誌「南紀生物」、会報「くろしお」の目次をすべて掲載することにしました。それまでホームページの管理をさせていただいていた丸村眞弘先生が掲載していた目次に追加をしていきました。昭和60年(1985)に入会した私にはすべての会誌・会報の目次を入手するのは困難であるため、常任委員の皆さんにご協力いただき令和元年(2019)12月21日に会誌「南紀生物」、会報「くろしお」(「くろしお」の前身の会報・南紀生物会報も含め)の目次をすべて掲載することが出来ました。これで創刊号からすべての総説・論文・短報の著者名・タイトル等を調べることが出来るようになりました。しかし、簡単には調べることが出来ないことに変わりはありませんでした。

誰もが簡単に調べられるようにするためには、目次をデータ化すれば出来るのではないかと。そうすれば、パソコンで検索が出来る。そう考え、目次のデータ化に取りかかることにしました。

実は昭和63年(1988)に発刊された南紀生

物第30巻第2号に第1巻第1号から第30巻第2号までの総目次が掲載されていました。当時、総目次を手にした私は、スキャナでパソコンに取り込み、OCR(光学的文字認識)ソフトを使って目次のデータ化にチャレンジしていました。ただ当時のOCRソフトは精度も良くなく、データ化には困難な部分もあり諦めていました。それから約30年、パソコン・スキャナ・OCRソフトも性能が上がり、目次のデータ化に再び取りかかることにしました。

### ○データ化の作業について

作業行程は、目次をスキャナで取り込み、OCRソフトで認識し、認識・修正したテキストをエクセルに貼り付けるといった作業を繰り返します。さらにデータを印刷し校正を繰り返しています。データの誤りにはさまざまな理由があつて、目次を作成する際の誤り、目次から目次集を作成する際の誤り、OCRソフトの誤認識(目次のコピーの汚れ、解像度)等さまざまです。このような校正を私一人で行うことは困難であるため、常任委員の皆さんにもご協力をいただきました。特に高須英樹先生(県立自然博物館館長)には原本を元に校正していただきました。

しかし、2400本を超す総説・論文・短報等のデータなので何度か校正していますが誤りが残っています。もし皆さんが誤りに気づいた際はご連絡下さい。南紀生物第59巻第2号より印刷業者からPDF化したデータを提供されるようになったので、データの最新号の追加等も素早く誤りなく行えると思います。

### ○目次検索データでは

現在目次検索データは創刊号(第1巻第1号)から第62巻第1号に掲載された総説・論文・短報等の著者名・タイトル・巻号・ページ、発刊年等をデータ化しています。ファイルは、

Excelブック、Excel97-2003ブック、CSVファイルの3種類を掲載しています。この3種類のデータ形式であれば、皆さんが使用している表計算ソフトやデータベースソフトで利用できると思っています。特にExcelのファイルではフィルタ（オートフィルタ）を設定しているので検索しやすいと思います。

### ○ 目次データ検索の活用例

すさみ町立エビとカニの水族館では令和3年2月に子ども研究員を募集しました。水族館で孵化した「アメリカカブトガニ」の幼生を小学生に自宅で育ててもらおうというイベントです。日本のカブトガニは、環境省レッドリストでは絶滅危惧種Ⅰで、現在「佐賀県伊万里市」、「岡山県笠岡市」、「愛媛県西条市」で生息しています。

#### 紀伊半島では生息していたかどうか？

目次検索データのタイトルで「カブトガニ」を検索してみると、3件見つかりました。1974年の第16巻第1号「仁科重己 笠岡湾におけるカブトガニの生活史(1)」、1977年の第19巻第2号「田名瀬英朋 和歌山県・白浜町でカブトガニ採取される」、1978年の第20巻第1号「楠井善久 和歌山県湯浅町におけるカブトガニの記録」です。このことから和歌山県でも生息していたことがわかります。

このように、目次検索データを使用することで自分が調べたいことを簡単に調べることができます。このデータを利用することで皆さんが簡単に必要なデータを見つけ、活用されることを期待しています。

・公式ホームページ

<http://nankiseibutu.jp/index.html>

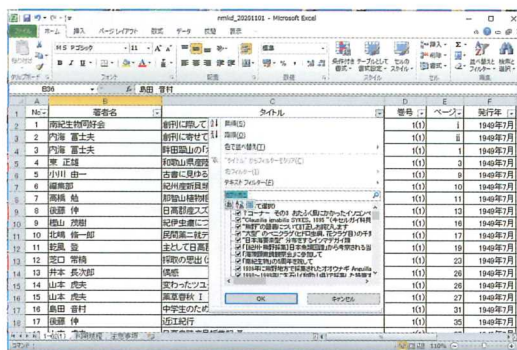


図1 Excelのフィルタで、「カブトガニ」とテキストフィルタに入力

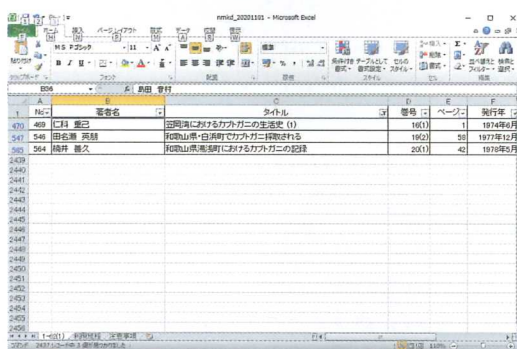


図2 検索結果 3件が表示された

### ○ 南紀生物同好会のホームページとFacebookについて

現在南紀生物同好会の公式ホームページと公式Facebookページを公開しています。公式ホームページでは、「南紀生物」目次検索データや年間行事計画、報告等を掲載しています。公式Facebookページでは、身近で見られる動植物の写真、行事計画、緊急の告知（行事の開催・中止の連絡）を掲載しています。是非ご覧いただければと思います。

・公式Facebookページ



南紀生物同好会事務局（広報担当）山本仁史